

募集要項

論文審査について

投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。審査の結果、原稿の一部改正、または訂正を求めることがあります。

なお、筆頭著者は日本脊髄外科学会会員であることが原則となっておりますので、非会員の方は入会手続きを行ってください。ただし、学生、コメディカルスタッフについては、学会会員が論文責任者になる場合に限り入会手続きなしでの投稿を認めます。

募集論文の種類について

論文掲載形式は、原著、総説、症例報告、Technical Note といたします。

論文種類	原稿枚数 (400字換算)	著者人数	刷上がり
原著	30枚	7名以内	6頁
総説	30枚	5名以内	6頁
症例報告	25枚	5名以内	5頁
テクニカルノート	20枚	5名以内	4頁

*原稿枚数には英文抄録、文献、図、表、図説を含む。

投稿方法および送付内容について

1. 投稿方法は原則メール添付とします。ただし郵送も受け付けます。
2. 投稿の際は以下を提出してください。
 - ・投稿申請書および連絡票

*本誌収載のものまたは学会ホームページ (<http://www.neurospine.jp/>) よりダウンロードして使用ください。

・論文原稿 (表紙、英文抄録、本文、文献、図表の説明文、図表データ)

2. 郵送の場合は上記をプリントアウトしたものと、原稿データの入ったCD-Rを提出してください。

倫理性、個人情報について

人を対象とした医学系研究については、日本脳神経外科学会の「人を対象とした研究の学会発表や論文投稿において遵守すべき倫理指針」(<http://jns.umin.ac.jp/jns/ethicalreviewboard>) に沿った対応がとられていることが必要です。研究倫理審査が必要な論文については、あらかじめ審査・承認を得て、論文中に承認番号を記載してください。

症例報告については、日本脳神経外科学会の「症例報告を含む医学論文及び学会発表における患者プライバシー保護に関する指針」(<http://jns.umin.ac.jp/jns/ethicalreviewboard>) を遵守し、症例報告についての患者らの同意を得た旨を論文中に記載してください。また、医薬品の適応外使用や国内未承認医療材料の臨床使用を含む報告については、所属に設置されている関連委員会(倫理審査委員会、未承認新規医薬品等審査委員会等)において使用の承認を得たうえで、論文中に承認番号を記載してください。

動物を用いた研究については「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(平成18年4月 環境省告示第88号)などを遵守して行われた研究である必要があります。

執筆要項

原稿の体裁について

1. 原稿サイズはA4判を用いてください。
2. 原稿は「表紙→英文抄録→本文→文献→図・表の説明文」の順とし、必ず英文抄録から通しナンバーを入れてください。
3. 表紙には、以下のデータを記してください。なお、論文タイトル、著者名、所属、連絡先は和英併記とします。
 - ①論文タイトル
 - ②著者名
 - ③所属
 - ④連絡先
 - ⑤key words 5個以内(英語)

記述・用語について

1. 専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいを用いてください。なお、脳神経外科関係の医学用語については『脳神経外科学用語集』(日本脳神経外科学会用語委員会編)、神経内科関係の医学用語については『神経学用語集』(日本神経学会用語委員会編)を参照ください。
2. 文献、人名、薬品名、地名は原語を用いてください。
3. 略語は文中で“習慣的に用いられている略語”のみとし、初出箇所必ず full-term をご記入ください。
4. 数字は算用数字を用い、度量衡の単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm², l, dl, kg, g, mg, ng, hr, min, sec, msec などとしてください。髄液細胞数は/mm³もしくは/μlと表します。脊椎のレベルについて述べる場合には、C4, C5, C6あるいはC4-6という表記にしてください。椎間腔について述べる場合には、C4-5, C5-6あるいはC4/5, C5/6という表記にしてください。胸椎はT, 腰椎はLという表記とし、頸椎に準じます。

論文の構成について

1. 英文抄録 (abstract) は必ず添えてください。形式は本誌掲載時と同様、表題、著者名、所属を明記し、内容は、目的、方法、結果、結論を簡潔明瞭に示し、新しく重要な知見を明らかにしてください。分量は250~400語とします。また、最後にkey wordも付してください。key wordsは5個以内(英語)とします。
2. 本文は多くの場合、「緒言(はじめに)」、「材料と方法・症例」、「結果(または症例のまとめ)」、および「考察」から構成されます。

【緒言】研究の目的、研究を行う理由、その背景を簡潔に述べてください。

【方法・症例】すでに発表されている場合には詳述は避けるが、最小限の情報は提供するようにしてください。

【結果】簡潔に記述してください。

【考察】新たな知見を強調し意味付けを行うが、方法・結果に述べてある詳しい情報は繰り返さないでください。

3. 研究費交付および謝辞などは、本文の末尾に表記してください。

文献について

1. 文献は、初出順に番号を付けてください。本文の該当箇所には、文献番号をカッコ付きで示してください。以下に文献の記載法を記しますので、これらの例に沿って文献を入力してください。[雑誌の場合]

著者名(3名まで): 題名、誌名 巻: 頁(初めと終わりの頁)、発行年(西暦)

【例】

- 1) Mizuno J, Nakagawa H, Inoue T, et al: Clinicopathological study of “snake-eye appearance” in compressive myelopathy of the cervical spinal cord. *J Neurosurg (Spine2)* **99**: 162-168, 2003
- 2) 高橋敏行, 富永徳二, 横堀寿光, 他: Cervical interbody fusion cage (CIF) によるヤギ屍体頸椎前方固定の生体力学的検討. *脊髄外科* **15**: 1-6, 2001

【書籍の場合】

著者名(3名まで): 書名、発行地、発行所、発行年(西暦)、頁(初めと終わりの頁)

【例】

- 3) Nakagawa H, Mizuno J: Threaded interbody cage fixation for cervical spondylosis and ossification of the posterior longitudinal ligament. in Bensec EC (ed): *Spine Surgery: Techniques, Complication Avoidance and Management* (2nd edition). Philadelphia, Elsevier Churchill Livingstone, 2005, pp363-369
- 4) 宮坂和男: 脊髄造影. 阿部 弘(編): 脊髄の外科. 東京, 医学書院, 1990, pp53-69

図・表および写真について

1. 図・表の説明(図、写真には説明文を、表には表題)をそれぞれ

れ英文で付けてください。

2. 表、写真、図は、MS Word、Excel、PowerPoint等を用いてデジタルデータとして作成してください。
3. 被写体の人格権に留意してください。
4. 光学顕微鏡写真には、染色法と撮影時の倍率を入れてください。
5. 電子顕微鏡写真には、倍率を示すバーを記入してください。
6. カラー写真で掲載を希望される場合には、その旨申し出てください。著者の実費負担となります。
7. 図・表を他誌から引用する場合、著作権規定に従った引用許可は著者が取ってください。

著者校正について

1 回のみ行います。

別刷について

別刷は30部まで無料です。別刷不要の方はその旨申し出てください。30部以上の別刷希望の方は別途申し出てください。50部単位で有料作製します。

著作権、出版権について

1. 他の雑誌、単行本の図・表などをそのまま、もしくは修正を加

えて引用するときは、著作権規定に照らした引用許可を得ることが必要です。その際、出典を明らかにし、引用許可を受けていることを図、表の説明に英文で明記してください。また、出版社や著者から得た許可証を原稿に添えて提出してください。

2. 本誌に掲載された論文 (figure と table を含む) の著作権と出版権は、一般社団法人日本脊髄外科学会に帰属します。

利益相反開示について

論文の末尾に「利益相反開示」として、その有無ならびに自己申告情報をまとめて記載ください。日本脊髄外科学会 HP の〈定款・規則等〉のページより「医学研究の COI (利益相反) に関する細則」をご覧ください。掲載されている条件に照らしてご記載ください。なお、以下の2点の細則が2015年度より変更になっておりますのでご注意ください。

- 1) 申告・開示の対象期間が1年から3年に変更されています。
- 2) 臨床研究の COI、データ、議事録を研究終了報告から5年間保存 (細則第4条に追記) に変更されています。

Extended Abstract の投稿および執筆要項

* 論文概要として Extended Abstract の投稿を受け付けます。full paper で発表する前の先行発表、また他誌に full paper で掲載されている内容の紹介ができます。

執筆分量

2,500字以内 (刷上がり・2頁以内)

* 上記制限に文献、図表 (3点以内、なくても可/1点400字換算)、図説を含む。

論文審査について

投稿論文の採否は編集委員会で決定します。審査の結果、原稿の一部改正、または訂正を求められることがあります。

原稿の体裁

上記執筆要項に準じます。

なお、abstract (英文抄録)、key word は本形式では不要とし、文献は3つ以内とします。

著者人数について

臨床研究は7名以内、症例報告は5名以内としてください。

記述言語

本文の使用言語は日本語のみとします。ただし、①専門用語、②原語で記載すべき箇所、③図説および図表内使用文字については英語記述することとします。

本文の構成

1. 本形式は論文概要であり、full paper に対する導入、前書きではありません。full paper に準じる形で目的、方法、結果、考察などを明瞭かつ簡潔にまとめてください。
2. 内容が総説やレビューであるものは、本形式では掲載しません。
3. 研究費交付および謝辞などは、本文の末尾に表記してください。

【重要】

このほか、本形式はその性質上、以下の場合が想定されますのでご留意のうえ適宜ご対応ください。

1. すでに他誌に full paper が掲載されている、あるいは掲載が決定している論文を Extended Abstract として投稿する場合：

・すでに他誌に掲載されている、あるいは掲載が決定している full paper が存在する旨を脚注として明記させていただきますので、投稿の際に、①共著者名、②論文タイトル、③誌名、④巻数、⑤発刊年、⑥頁数を明示し、該当箇所のコピーを同封してください。

・先行刊行物の著作権保持者に自著の二次刊行物として、他誌掲載許可をお取りください。

・図表の再使用については、上記許可がとれた場合のみ再使用可能とします。その際は出典箇所 (筆頭著者名、発刊年) を明示してください。

2. 将来他誌に full paper として投稿する場合：

・図表については full paper への掲載を優先いただくか、まったく同一のものにならないよう適宜ご対応ください。

別刷について

基本的にお作りいたしません。別刷り希望の方はその旨申し出てください。50部単位で有料作製します。

その他の要項については上記執筆要項に準じます。

原稿送付先

郵送での投稿

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

(株)三輪書店 気付

日本脊髄外科学会機関誌

『脊髄外科 SPINAL SURGERY』編集局分室

TEL 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

メールでの投稿

E-mail : jsss-annex@miwapubl.com

「脊髄外科」投稿申請書

(コピーないし学会ホームページよりダウンロード可)

下記の論文を日本脊髄外科学会機関誌「脊髄外科」に投稿いたします。なお、他誌への類似論文の投稿はいたしません。本研究では、原則的に適応外の薬剤・医療機器等を使用していません。ただし、適応外使用がある場合には、施設の倫理委員会から承認が得られていることを論文中に明記しています。

また、日本脳神経外科学会の「人を対象とした研究の学会発表や論文投稿において遵守すべき倫理指針」「症例報告を含む医学論文及び学会発表における患者プライバシー保護に関する指針」(<http://jns.umin.ac.jp/jns/ethicalreviewboard>)を順守しています。

論文題名：

患者・被検者より同意を得ている，または所属施設における倫理委員会等の承認を得ている（に✓を入れてください）

ご所属

ご署名

筆頭著者：

共著者：

提出年月日：

年 月 日 提出

「脊髄外科」連絡票 受付No.:

和文：

表題：

著者：

所属：

英文：

表題：

著者：

所属：

掲載希望（いずれかに○を付けて下さい）：

原著

総説

症例報告

Technical Note

Extended Abstract

論文内容：本文

ページ

／

文献・抄録・図表説明

ページ

図

点

／

表

点

／

写真・図・表の返却：

希望する

希望しない

原稿校正者氏名：

E-mail：

住所：

電話：

FAX：